



越道街第27号  
平成19年5月8日

国土交通省道路局長  
宮田年耕様

埼玉県越谷市長 板川文夫



中期的な計画の作成にあたっての意見書(回答)

平成19年4月2日付国道企第114号で依頼のありました件につきまして、下記の通り回答します。

記

1. 回答文書 別紙のとおり

## ＜今後の道路政策や道路の整備・管理について＞

### 1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

道路に対する利用者のニーズの多様化に伴い、車から人中心の道路への転換、移動から生活中心の道路利用など、市民の道路に対する満足度にも変化が現れております。

昨今、このような状況の中で、児童・生徒を含む悲惨な交通事故が多発しており、安全で安心な暮らしの実現に向け、交通事故を減らす道路政策は最も重要であり、特に通学路の安全確保は喫緊の課題であると考えております。

また、毎年、越谷市内の各小中学校やPTAから、幹線道路の通学路に対する安全確保の要望が多く寄せられている状況でございます。

### 2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

事業の効率化を図るには、事業の主旨や目的を明確化するとともに、問題・課題となっている、要因や原因を分析し、事業の効率化を図るとともに最大の効果を求めなければならないと考えております。

また、真に必要な道路整備を進めるにあたり、住民の理解は必要不可欠であるため、整備の目的や効果を数字により客観的に検証し、「選択と集中」を行い、解りやすい説明が求められていると考えております。

### 3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

地域高規格道路である「東埼玉道路」につきまして、現在、関東地方整備局で進められている「道路見える化計画」の中でも、国道4号の渋滞や交通事故の多発を解消する路線として位置づけされておりますので、都市計画決定されている区間の早期事業化と首都圏中央連絡自動車道までの都市計画決定の延伸を関係機関への働きかけも含めお願いいたします。

また、現有施設の適切な管理により延命化を図るとともに、日常の維持管理を徹底し良好な道路空間を保全すべきであると考えておりますので積極的な取り組みをお願いいたします。